



**BICYCLE CITY EXPO 2021**

自転車まちづくり博  
in 東京ドームシティ・プリズムホール

# 「自転車愛、人間愛、地球愛」のテーマ掲げ、 自転車の底力、小型モビリティの可能性を展望



来場者でにぎわう展示会場

展示会場をにぎわせた電動アシスト自転車、電動スクーター、電動ミニカーのニューモデル。話題を集めた駐輪場グランプリの受賞作品、ウイズコロナ時代のライフスタイルを支える新製品。サイクルツーリズムや乗り物新時代の可能性を語り合ったパネルディスカッション。5年目を迎えた今年の「BICYCLE CITY EXPO」は、例年にも増して多彩な話題が交錯する展示イベントになった。

2日間にわたって開催された同展示会の模様を振り返ってみよう。

緊急事態宣言が発出された中で開催された今年の「BICYCLE CITY EXPO」は、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底させた異例の展示会であった。

入念な検温・消毒体制、マスク、フェイスシールドの着用、換気対策、ソーシャルディスタンス。今年は主催者、来場者の双方にとって厳しい制約下での展示会となったが、ふたを開けてみれば展示会場にはそうした不自由さはね返すだけの強固なポテンシャルが満ちていた。まさに「自転車愛、人間愛、地球愛」のテーマに裏打ちされたコンセンサスが会場

のそこかしこに息づき、社会変革の志を感じさせる活気あふれる展示会となったのだ。

「自転車、超小型電動モビリティは3密から遠い有意義な乗り物である」

「ウイズコロナ・アフターコロナ時代の移動手段は自転車、電動モビリティが重要な役割を担う」

「乗り物の動力源は電気、Eパワーが主力となっていく」

「電動アシスト自転車、電動モビリティを活用したライフスタイルの普及は時代の大きな流れであり、それをさらに促進していくのが業界の役割である」

「サイクルツーリズムは間違いなく経済活性化の一翼を担う」

「機能アップした駐輪システムは自転車利用環境を進化・向上させる基盤となるものだ」

「交通社会を支える基本は安全性の確保。自転車、小型モビリティの発展は安全重視の構想なくしてあり得ない」

「BICYCLE CITY EXPO 2021」は、自転車まちづくり博はこうした理念、テーマに支えられた展示会だったが、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の社会的危機の中で右記のテーマ

会場には熱心な来場者が詰めかけた







サイバークィングは自転車シミュレーションを設置し、自転車利用環境の向上を目指す企業スタンスを示した



モータリスト合同会社はイタリア・ファンティックの高機能e-バイクを出品



マジカルレーシングは自転車用のデリバリーボックスを提案



特設ステージでは連日、パネルディスカッションが行われた

は自転車・電動小型モビリティ業界の中で確立され、クローズアップされていった。そうした機運を象徴するイベントとなったのが「BICYCLE CITY EXPO 2021〜自転車まちづくり博〜」だった。

換言すれば、自転車業界、電動小型モビリティ業界にはビジネスチャンスの芽が加速的に拡充されているわけで、今年の「BICYCLE CITY EXPO 2021〜自転車まちづくり博〜」が活気あるものになる下地は充分にあったのだ。

緊急事態宣言下で出展を見合わせる企業が少なからずあったことは事実だが、予定どおり展示場集結した出展者は社会貢献への使命感、ビジネスチャンス

しっかりと意識した企業と言えるだろう。そして、展示会場に参集した来場者もまた、モビリティワールドがたどるべき進化、変革の道を模索する有志の人、熱心なビジネスマンだった。コロナ禍で苦しむ社会情勢にもかかわらず、いや、だからこそ本展が熱気に満ちていたと言っべきだろう。

展示会場には自治体関係者、自転車小売業者、駐輪場関連業者、情報・通信関連企業、自転車・パーツ・用品メーカー、デベロッパ、道路・建設関連業者、建設コンサルタント、シェアサイクル運営会社、防犯・セキュリティ関連業者、スポーツ・健康関連企業、鉄道・交通関連企業、旅行・観光関係業者、商業施設・公共施設・オフィスビル・学校関係者、自

転車愛好家などさまざまな立場の人達が集結した。

「BICYCLE CITY EXPO 2021〜自転車まちづくり博〜」は、出展者と来場者の熱い想いがクロスオーバーし、自転車・電動小型モビリティ業界のさらなる成長を予見させるエキサイティングな催しとなった。

展示ブースには意欲的な製品が多数展示された





**BICYCLE CITY EXPO 2021**

自転車まちづくり博  
in 東京ドームシティ・プリズムホール

# eバイク、電動モビリティ、自転車・パーツ・用品、 自転車デリバリ、駐輪機、観光ツーリズム、 道路関連製品など多彩な製品が集結

「BICYCLE CITY EXPO 2021「自転車まちづくり博」」では  
自転車・パーツ・用品の現状と未来形、  
電動アシスト自転車・eバイク・電動  
小型モビリティの最新動向、交通社会の  
未来と新たなライフスタイル、自転車観  
光ツーリズム、自転車走行空間の整備・  
拡充、最新駐輪システム、シェアサイク  
ル、自転車と健康、自転車デリバリ、  
自転車と異業種の連携、自転車とIT機  
能のコラボなど自転車・小型モビリティ

を活用したまちづくり、環境未来都市計  
画の有り様などがさまざまなかたちで提  
示・公開された。

新型コロナウイルス感染を防ぐための  
タッチレス、キャッシュレス駐輪機器の  
開発は時代の要請で、ウイズコロナの時  
代にミートした新型駐輪システムが注目  
を集めたことも特筆事項だ。あらゆる業  
種にとって新型コロナウイルス対策は不可避のも  
のだが、駐輪場もまったくもって例外で  
はない。駐輪場、駐輪システムにもウイ

ズコロナ時代にミートした製品が主流に  
なっていくはずで、その先頭を走る製品  
が展示会場で注目と話題を集めていた。  
展示会場のそここにウイズコロナ時代  
を生き抜く「智慧」と「ヒント」が息づい  
ていた。

地球環境に優しいまちづ  
くりを推し進めていくこと  
は自転車・電動小型モビリ  
ティワールドの発展を根幹  
から支える基本テーマであ



ASK 商会は最新式リサイクル装置をアピールした



OSSの垂直2段式ラックは訴求力充分の製品だ



川崎重工がリリースした注目のノスリス



展示会場では垂直2段式ラックな  
どさまざまな駐輪機が公開された





アドベンチャーエイドのステディラックは注目の製品だ



試乗コーナーには終始、e-バイク、電動モビリティの試乗希望者が殺到した



ハイパーエネルギーはソーラー付きサイクルルーフをアピール



トースト17バイクはTボーンツールシリーズで注目を集めた



デリバリー用電動モビリティは今年の展示会の注目製品となった  
(写真はブルーテクノブース)



デンケンはタッチレスパネル搭載精算機をプッシュ



大成ファインケミカルはデザイン舗装材のリリーフペイントをプッシュ

「ヘルメット、かぶろうキャンペーン」には多彩な魅力商品が展示された



注目集めた2019・2020年駐輪場グランプリの表彰式  
 美しく、機能的に駐輪するシステムづくりを推進

また、特設ステージでは学識経験者、ジャーナリスト、評論家、サイクリスト、団体職員、民間業者らによるパネルディスカッション、製品発表会などが2日間にわたって実施された。ステージで公開されたフレッシュな話題、新情報、注目すべき新提案は来場者の注目を集めることとなった。

「駐輪場グランプリ2019・2020」  
 年BICYCLE PARKING OF THE YEAR」の受賞作品の発表・表彰式、ヘルメットかぶろうキャンペーンの特別ブースも話題を集めた企画だった。

2019駐輪場グランプリで最高峰のグランプリ大賞を受賞した国分寺駅北口地下自転車駐車場、優秀賞の渋谷駅東口地下自転車駐車場、北区赤羽駅西口自転車駐車場、2020年駐輪場グランプリで優秀賞を受賞した松本駅北自転車駐車場・松本駅アルプス口自転車駐車場、大阪市のヴェロスタなどの表彰式、受賞物件のパネルによる展示公開は今年の展示会のハイライトでもあった。

BICYCLE CITY EXPO 実行委員会は、来年の展示会に向けて2021年駐輪場グランプリを実施する予定で、さらに進化した自転車駐車場、機能アップした駐輪システムの誕生をバックアップしていく構えだ。



シナネンサイクルは独自のカーゴバイクに注力



初日に2019・2020駐輪場グランプリ表彰式が開催された



SWALLOWは電動キックボードに注力



垂直2段式ラックに注力したダイケン



エアレスタイヤをブッシュした武田産業



カツデンアーキテックのお洒落な駐輪ラック





現役競輪選手の岡田浩太氏はS1NEOを強力プッシュ



eBikeRは個性派電動モビリティを出品



ブレイズのEVデリバリー

ライジング出版では「BICYCLE JAPAN」そして僚誌「BICYCLE CITY」で緊急キャンペーン「自転車愛、人間愛、地球愛。自転車は人類の危機を救う」を展開してきたが、その集大成の場となったのが「BICYCLE CITY EXPO 2021」だった。

毎年、展示会の模様は一般マスコミにも広く報道され、反響を呼んでいる（昨年は新型コロナウイルスの影響で開催中止）。自転車を活用したまちづくりは今もっとも注目を集めるテーマのひとつだ

## コロナ禍の試練をチャンスに変える 新機能製品、魅力システムの輩出に期待！

「BICYCLE CITY EXPO 2021」は一段と社会性を増し、力強いバックボーンを得ることになった。新型コロナウイルスという未曾有の可能性を切り開く好機でもある。ピンチの裏にチャンスありだ。

「BICYCLE CITY EXPO 2021」も例年同様、5月後半に開催される予定だが、自転車・小型モビリティの需要拡大という社会情勢を背景とし

てさらなるグレードアップを果たすことは必至。来年は自転車・小型モビリティの可能性、駐輪・観光・旅行・道路関連業界が向かうべき方向性をしっかりと予見するエキサイティングなイベントになるはずだ。

「BICYCLE CITY EXPO 2021」の展示会場には社会を瞳みさせる魅力製品、新機能システムが集結することは間違いなさだろう。

（展示会の詳細は僚誌「BICYCLE CITY 7月号」に掲載）



カギのニッコーは高機能製品を強力アピール



エンビジョンは個性的な電動アシストカーゴバイクを出品



独自のメンテナンスシステムを提示したシゲオー